

## 平成21年度 全国公立学校教頭会 ブロック大会報告

- I 大会名称 第43回北海道公立学校教頭会研究大会 札幌大会  
II 開催期日・場所 平成21年9月25日(金)・26日(土)  
全体会 札幌市民ホール 分科会 札幌サンプラザ ライフォートホテル札幌

### III 日程・大会の概要

#### 1 日程

25日(金)	受付	9:00	～	9:30
	開会式	9:30	～	10:15
	記念講演	10:15	～	12:00
	昼食移動	12:00	～	13:30
	打ち合わせ	13:30	～	13:45
	分科会	14:00	～	16:00
26日(土)	受付	8:30	～	9:00
	分科会	9:00	～	11:10
	閉会式	11:10	～	11:30



#### 2 概要

- (1) 研究主題 「生きる力をはぐくむ 豊かな学校をめざして」  
～開かれた学校づくりの推進とたくましく生きる子どもの育成～
- (2) 主催 北海道公立学校教頭会
- (3) 主管 札幌市小・中学校教頭会
- (4) 後援 北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、札幌市小学校長会、札幌市中学校長会、北海道PTA連合会、札幌市PTA協議会、日本教育会北海道支部、北海道教育公務員弘済会(順不同)
- (5) 開会行事 ①開会のことば ②国歌斉唱 ③挨拶 ④祝辞 ⑤来賓紹介 ⑥次期開催地教頭会挨拶  
⑦閉会のことば  
○大会オリエンテーション
- (6) 記念講演 演題 「大人が笑えば子どもは笑う」  
～子どもは空気を敏感に感じている～  
講師 大棟 耕介 氏(NPO法人 日本ホスピタルクラウン協会 理事長)  
ホスピタルクラウンの活動は、長期入院の病室で、夢や希望を失いかけた子どもたちが、笑顔を取り戻し、その創造性や能動性を引き出し、社会性を取り戻すことである。その活動を通して得た経験から、引きのコミュニケーションというスキルを向上させることが、組織力を高めるための役割を担う教頭として役立つのではないかと提案がありました。  
先を見通した経営が求められている学校であるが、数年先ですら予測することが困難な変化の激しい現在の社会状況もある。そういった現状を打破していくためには、職員一人ひとりが学校全体の運営に関わるという意識改革を図ることが必要である。そのための示唆を多数いただいた講演でした。
- (7) 分科会 ①教育課程(A・B)、②子どもの発達、③教育環境整備、④組織・運営、⑤教職員の専門性、⑥教頭の職務、以上6課題7分科会と、特別分科会の、⑦教育の今日的な課題(テーマを新学習指導要領で求められる道徳教育とした基調講演とシンポジウム)が設定されました。

### IV 大会に参加しての感想等

「時計台の鐘の鳴る街」札幌市において、全道から1,100余名の会員の方々に参加され、「北海道公立学校教頭会研究大会札幌大会」が盛大に開催されました。

7分科会会場を巡回させていただきましたが、いずれの分科会でも第11次3カ年継続研究の中間年にあたり、これまでの成果と課題を踏まえた、より具体的な実践的研究に基づいた提言がなされていました。代表参加制、参加型分科会についても定着してきており、特に、教頭自身の専門性や資質の向上を図り、経験の少ない教頭もその能力を如何なく発揮することができるようにし、教職員の専門性を高めるために積極的に関与されていることに感心させられました。

大会が成功裏に終えることができたのも、北海道公立学校教頭会の役員並びに札幌市小・中学校教頭会の先生方の企画・運営の賜物と感じると同時に、役員の方のお人柄に心暖まる思いがしました。